

新型コロナウイルスによる生乳需給への影響を鑑み、直近の飲用等向けの販売状況の推移を中心に毎週発信してまいります。

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《台風12号の影響でさらにひっ迫の可能性～夏季の生乳需給について～》

- ・9/14週の牛乳の家庭内消費については、台風の影響などで雨天が続いたことの影響を受け、前週(9/7週)と同程度の落ち着いた伸び率となっており、牛乳類全体では伸び率は縮小して推移している。
- ・全国的に気温が落ちてきたことから、都府県の生乳生産の回復と、シルバーウィークの連休を含めて消費の落ち着きが見込まれ、生乳需給は落ち着くとの見方があった。
- ・こうした状況の中、台風12号(24日温帯低気圧に)の影響によって、「ほくれん丸」が23～26日までの4日間欠航し、道外移出生乳の輸送がストップするため、特に関東圏における25～28日の飲用需給に大きく影響が及ぶものと考えられる。

【牛乳類の販売速報(推定値)：インテージSRI】

(1)直近(本年7月～)の動向(表①参照)

・直近(9/14週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳：同102.0%、成分調整牛乳：同90.7%、加工乳：同91.8%、乳飲料：同100.9%。

・牛乳類トータルでは同100.5%と伸び率が圧縮している。

・販売単価は、牛乳：192.2円、成分調整牛乳：174.9円、加工乳：184.3円、乳飲料：150.5円。

(2)全品目で前週(9/7週)より販売個数が減少した。

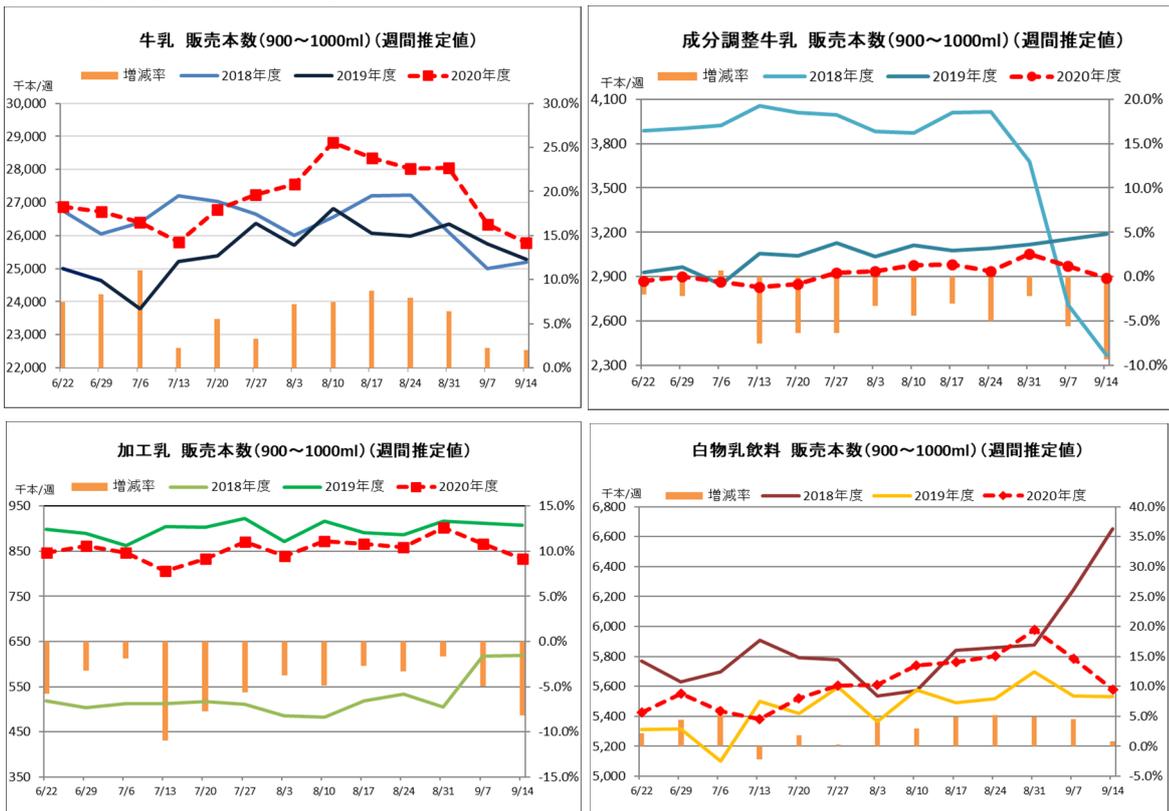
※出典 (株)インテージSRI週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(千個)

品目	区分	7.6-	7.13-	7.20-	7.27-	8.3-	8.10-	8.17-	8.24-	8.31-	9.7-	9.14-
トータル	販売個数	35,549	34,806	35,992	36,629	36,953	38,409	37,954	37,634	37,975	35,955	35,084
	販売個数前年比	109.1	100.3	103.5	101.7	105.6	105.4	106.8	106.1	105.2	101.7	100.5
	販売単価	183.0	183.0	183.2	183.1	183.4	183.8	183.4	183.2	183.7	183.8	183.9
牛乳	販売個数	26,401	25,794	26,794	27,225	27,566	28,821	28,343	28,033	28,043	26,330	25,782
	販売個数前年比	111.0	102.2	105.5	103.3	107.2	107.5	108.7	107.9	106.4	102.3	102.0
	販売単価	190.5	190.7	190.7	190.7	191.0	191.2	191.0	190.9	191.7	192.0	192.2
成分調整牛乳	販売個数	2,867	2,828	2,848	2,929	2,935	2,976	2,982	2,939	3,052	2,974	2,891
	販売個数前年比	100.7	92.4	93.6	93.6	96.7	95.6	97.0	95.0	97.8	94.4	90.7
	販売単価	175.3	174.8	175.3	175.1	175.0	175.1	175.0	175.3	175.4	175.4	174.9
加工乳	販売個数	846	806	833	871	839	872	867	858	902	867	833
	販売個数前年比	98.1	89.1	92.3	94.4	96.2	95.1	97.3	96.8	98.4	95.1	91.8
	販売単価	180.7	182.3	182.6	181.2	184.0	185.3	184.8	184.0	184.3	183.6	184.3
乳飲料	販売個数	5,435	5,379	5,518	5,604	5,612	5,740	5,763	5,804	5,978	5,784	5,578
	販売個数前年比	106.5	97.8	101.8	100.2	104.6	103.0	104.9	105.2	104.9	104.5	100.9
	販売単価	150.7	150.7	150.8	150.5	150.6	151.0	150.1	150.1	150.6	150.6	150.5

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近(本年7月~)の動向(表②参照)

直近(9/14週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同105%以上。

(2)ドリンクタイプ、個食タイプは前年割れとなっているものの、大容量タイプについては引き続き前年を上回って推移している。

【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	7.6-	7.13-	7.20-	7.27-	8.3-	8.10-	8.17-	8.24-	8.31-	9.7-	9.14-
ドリンクタイプ	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
個食タイプ	⇒	↓	↓	⇒	⇒	⇒	⇒	↓	↓	↓	↓
大容量タイプ	↑	⇒	⇒	↻	↑	↻	↻	⇒	⇒	↻	↻

 : 前年比90%未満	 : 前年比105%以上110%未満
 : 前年比90%以上100%未満	 : 前年比110%以上120%未満
 : 前年比100%以上105%未満	 : 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

※本データの収集・分析は、2020年度生乳需要基盤確保事業を活用し実施しております。